

## 空襲跡地での体験と語り部の活動のこと

匿名希望（父から聞いた話）

父から聞いた話です。川重（当時、川崎航空機明石工場）が近かったこともあり、B-29 が空襲前もやってきては家をゆらしたとのこと。空襲時、明石中学下校中の父は急いでかけつけました。焼けた工場を歩いているとポタポタと何か落ちてきて、見あげると飛ばされたご遺体の一部から血がしたたりおちてきていたそうです。学徒動員で犠牲になった子の霊が夜な夜なさまようようになり、鎮めるために地蔵をまつてからはおさまったとか。今では地域で大切におまつりされています。

父は語り部として請われれば小学校に講義に行っていました。今は故人となりましたが、もっと多くの体験を聞いておきたかったです。母として子として妻として悲しい思いをしないよう次に伝えるために。